

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--|---------|-----|---|------|----|
| 科目名 Course Name | 医療的ケアIV Medical Care IV | ナンバリング No. | J 4-008 | | | | |
| 年次 | 2 年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 和田晴美 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-ラーニング に対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP 2、DP 3、DP 5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>医療的ケア I ~ III で学んだ知識と実施手順をもとに、養成課程カリキュラムに規定された回数を演習する。医療的ケアが必要な利用者に、安全で確実なケアが実施できるよう繰り返し演習をおこない、技術の確認をする。</p> <p>①喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ内)及び経管栄養(胃ろう・経鼻経管)を手順通りに実施できるようにする。</p> <p>②吸引及び経管栄養を受けている利用者の状態に注意し、異常を早期発見できるようにする。</p> <p>③医療的ケア実施後の報告と記録を適切に実施できるようにする。</p> <p>④緊急時の観察と救急蘇生法を実施できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | シミュレータを用いた少人数による演習であり、演習評価表にもとづき進めていく。実施後は各自が自己評価表を記載し、振り返りをする。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 喀痰吸引および経管栄養を、対象への適切な声掛けや観察を行いつつ、手順にそって実施することができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | 医療的ケア実施にあたり、医師や看護師との連携の必要性を説明することができる。緊急時への対応を適切に実施することができる。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 演習1回ごとに、技術評価表を記載する。手順の違いや不足点はその都度個別に指導する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 新・介護福祉士養成講座 第 15 巻 医療的ケア 中央法規出版(医療的ケア I・II・IIIと同じ) | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | 医療的ケア I ~ III を履修し単位を修得していること。演習回数は決められているため、欠席すると必ず補講を行う。遅刻・欠席することのないよう体調管理に努めること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 既習学習を活かし、積極的に参加している。自主的にメモをしている。テキストや資料、技術評価表を活用し、イメージトレーニングにより技術習得に向けて努力している。 | | 10 | | |
| レポート/作品 | 各演習(5種類)の技術評価終了後に「自己評価表」を記載し終了後提出。S:できる・できないを明確にし、できるための対策を立てている。 | | 20 | | 10 |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 技術修得の確認評価は「技術評価表」にもとづき、各演習の 5 回目におこなう。S:手順通りに実施でき、1 回で合格している。 | | 40 | | 20 |
| その他 | | | | | |
| 合 計 | | | 70 | | 30 |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(シラバスにそって) 演習 1 口腔内吸引【デモンストレーション、演習①】 |
| | 事前・事後学習 | 吸引・経管栄養の手順・手技を確認し、ノートに記載する。 |
| 2 | 授業内容 | 演習 2 口腔内吸引【演習②③】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 3 | 授業内容 | 演習 3 口腔内吸引【演習④⑤技術評価】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 4 | 授業内容 | 演習 4 鼻腔内吸引【デモンストレーション、演習①②】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 5 | 授業内容 | 演習 5 鼻腔内吸引【演習③④】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 6 | 授業内容 | 演習 6 鼻腔内吸引【⑤技術評価】 気管カニューレ内吸引【デモンストレーション、演習①】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 7 | 授業内容 | 演習 7 気管カニューレ内吸引【演習②③】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 8 | 授業内容 | 演習 8 気管カニューレ内吸引【演習④⑤技術評価】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 9 | 授業内容 | 演習 9 胃ろう経管栄養【デモンストレーション、演習①】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 10 | 授業内容 | 演習 10 胃ろう経管栄養【演習②③】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 11 | 授業内容 | 演習 11 胃ろう経管栄養【演習④⑤技術評価】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 12 | 授業内容 | 演習 12 経鼻経管栄養【デモンストレーション、演習①】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 13 | 授業内容 | 演習 13 経鼻経管栄養【演習②③】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 14 | 授業内容 | 演習 14 経鼻経管栄養【演習④⑤技術評価】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行う。 |
| 15 | 授業内容 | 演習 15 救急蘇生法【デモンストレーション、演習、技術評価】 |
| | 事前・事後学習 | 自己評価表記載。提出の準備。 |